

令和8年度宇部市公共交通協議会 第1回会議 会議録

日 時：令和8年（2026年）4月15日（水） 10:00～11:10

場 所：宇部市役所 市民交流棟 2階 会議室D・E

出席者：16名（欠席者2名）

榊原会長（国立大学法人山口大学大学院）

三戸副会長（宇部市自治会連合会）

鈴木委員（国立大学法人山口大学大学院）

磯中委員（宇部市交通局）

綿部委員（船木鉄道株式会社）

芳野委員（宇部山電タクシー株式会社）

秋野委員（宇部第一交通株式会社）

西嶋委員（西日本旅客鉄道株式会社）

寺崎委員（中国運輸局山口運輸支局）

大野委員（中国地方整備局山口河川国道事務所宇部国道維持出張所）

山本委員（山口県宇部土木建築事務所）

平田委員（山口県宇部警察署）

吉森委員（山口県観光スポーツ文化部交通政策課）代理 出田様

齋藤委員（宇部商工会議所）

石崎委員（社会福祉法人宇部市社会福祉協議会）

渡辺委員（宇部市都市政策部）

事務局：3名

交通政策課 飯田課長、和田副課長、松本係長

次 第：1 会長あいさつ

2 議事

(1) 令和8年度事業計画及び予算（案）

(2) 宇部市地域公共交通計画の改定

(3) 北部地域公共ライドシェア実証事業

(4) スマート空港タクシー事業者の変更について

(5) 山口宇部空港国際線乗合タクシー運行支援事業

その他（報告）

・令和8年度 主な事業について

3 その他

1 会長あいさつ

2 議事

(1) 令和8年度事業計画及び予算（案） [承認]

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【委員】

二点お伺いしたい

1点目、地域公共交通計画改定の事業費について、地域公共交通計画策定の補助金ではなく、地域公共交通確保維持改善事業の補助金となっているのはなぜか。

2点目、宇部市路線バス運転士採用サイトの保守管理費について、非常にいい取り組みとっており、サイトを拝見したが、このサイトについて保守管理だけでいいのか、広告費等が事業費に計上されていないようようだが十分に活用されているのか、お分かりの範囲でお教えいただきたい。

【事務局】

1点目について、国の補助金の分類として地域公共交通確保維持改善事業があり、その中に複数補助金がある中の一つとして計画策定等に係る補助金があると理解している。

2点目について、このサイトは宇部市交通局と船木鉄道の運転士募集サイトとなっており、様々なところにこのサイトのリンクを添付するなどして活用している。現状このサイト自体について広く広報等を行っているということはないため、広告料等は計上していない。

【委員】

運転士募集サイトについて、アクセス解析等を行っているか。

【事務局】

閲覧数の確認等行っており、このサイトから実際に採用につながっているということも確認している。

【会長】

運転士募集サイトについて、サイトの内容は運転士のインタビュー等だったかと思うが、内容のアップデートは行っているか。

【事務局】

サイト内の待遇面（給与等）については、2社の状況により、都度更新を行っている。インタビュー等の内容の部分については当初のままとなっており、その内容を改めるとなると費用がかかってくるため、検討が必要かと考えている。

【会長】

毎年変えるといった必要はないと思うが、時々は考えてもよいのではないか。

【委員】

宇部市交通局では若い運転士が採用され、活躍されているといったお話を聞いており、そういった方々のインタビューを新しく取り入れることによって、若い方々の採用に繋げていけるよう、サイトのアップデートをしていくというのを検討してもいいのではないか。

【会長】

サイト以外にもSNS等やられていると思うので、そういったところも含めてアップデートしていけるといいかと思う。

この件について、承認としてよろしいか。

異議なし。

(2) 宇部市地域公共交通計画の改定 [承認]

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

次期計画の策定に関する内容であり、承認が必要な事項として、事業者との契約等に関する今後の調整等について事務局に一任いただきたいといったことについて、承認を求められているものである。計画の策定についてはこれからの話ではあるが、大変重要な計画であり、今後も色々のご意見をいただく機会があるかと思うが、現時点でご質問やご意見等あればお伺いしたい。

【委員】

受託事業者との契約等については事務局に一任することについて異論はない。受託候補者である復建調査設計については、国の計画関連の委員会でも事務局をされていたり、アップデートガイダンスのとりまとめを担当されたりしており、担当者によるところはあるが、適切に支援していただけると思われる。1点スケジュールを拝見して気になったのが、資料1ページにもお示しいただいているが、国が示したガイダンスでは、現状診断の前に枠組みの検討というプロセスを設けることが推奨されている。当初のアップデートガイダンス案では含まれていなかったが、有識者を中心に、絶対に必要であり盛り込むべきということから枠組みの検討という内容が盛り込まれている。この計画をどのようにして立てていくかという所を事前に十分に考えるという内容で、現状診断はそれほど時間をかけなくても、短時間でやっていただけるようにアップデートガイダンスでデータの利用法等について示されていると認識しており、この枠組みの検討というのはコンサル事業者に支援していただくというよりは、市の方である程度見通しや考えを持って進めていくことが大切な項目と考えている。現時点でこの枠組みの設定について、計画策定の方向性等枠組みのお考えがあればお聞かせいただきたい。例えば国で示しているのは、どのように市民の意見を取り入れていくかや、住民や民間企業とどのように連携をはかっていくか、というような参画方法を検討するといった内容が考えられるが、もしそのあたりのお考えがあればお伺いしたい。

【事務局】

アップデートガイダンスに示されている枠組みの検討等については、有識者や住民等から意見を聞きながら、枠組みを検討するということが示されているというのは認識している。宇部市の公共交通の課題であるとか、その課題を解決するためにどういったことをすべきかといったことを、まずこの公共交通協議会の委員の皆様を含め、ご意見をいただきたいと考えている。そのうえで、宇部市に足りないものはどういったものかというようなことを踏まえたうえで、仮説を立てる作業を進めていくという流れを考えている。受託候補者と今から詳細を詰めていくが、ワークショップの開催等についても提案いただいております、そういった形で住民の方の意見も取り込んでいきながら、枠組みの検討を行っていきたいと考えている。

【委員】

協議会をベースとして、ワークショップ等も取り入れながら仮説を立てて進めてい

くということで、仮説の検討が非常に大事かと思われるので、引き続きお願いしたい。

【会長】

一昨年度に、公共交通サービス水準の調査をされたかと思うが、この計画策定の中では、現状診断とか現況分析の一環という位置づけと考えるとよいか。

【事務局】

現状分析の一環と考えている。またその際、住民アンケートを実施しているため、一部住民の意見を伺っているという現状である。

【会長】

色々公表されているが、山口県においても今年度から2か年の予定で同じような公共交通に関するビジョンを作られるということで、県の方で広域的な構想と、偶然ではあるが宇部市の構想が同時進行で進んでいくような形となると思われる。これまで宇部市では相互連携計画、地域公共交通網形成計画、地域公共交通計画と3つ計画を作ってきた中で、今回4つ目の計画策定となるが、宇部市の中でその時々現状を分析し、求められていることを行ってきたと思うが、運転士確保の内容であったり、広域の交通の中で特に鉄道の位置づけであるとか、今まであまりできていなかった部分にも課題が顕在化していると認識している。そういった中で、今回宇部市が計画を作るということで、現在の動向を反映した計画にしていかなければならない。先ほど事務局からもあったが、この協議会の委員の皆様のお立場の中での懸念点等ご発言いただけると、よりよい計画になっていくのではないかとと思われる。また、前回の計画策定時には、ちょうどコロナ禍の真ただ中であつたところがあり、先の見通しがしづらかった。今回の計画策定でも KPI の設定が求められるが、色々な不確実性がある中で設定が難しいが、現状でエネルギーとか燃料といったところはかなり不確実性が大きいと思われ、収支に直結すると思われる。そういった要素も種々あると思われ、KPI の設定の仕方は難しいと感じるが、これまでの経験や反省をふまえて、よりよい、きちんと機能する KPI を作っていかなければならない。その点は、今回の受託事業者の注力の影響も大きいと思っている。

この件について、承認としてよろしいか。

異議なし。

### (3) 北部地域公共ライドシェア実証事業 [報告]

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

現時点では報告事項であり、今後この協議会の承認が必要となった際には、改めて審議事項となる可能性もあるが、現時点では報告事項である。とはいえ、当然公共交通に関する内容であるので、ご質問やご意見あればお伺いしたい。

小野が先行して実証を行っているが、今回実施予定の二俣瀬とはそれぞれ完全に独立しての実施となるか。

【事務局】

基本的に主が地元の団体となり、小野地区では地元の自治会連合会長を主に運行していただいている。そのため、小野地区は小野地区で、二俣瀬地区は二俣瀬地区での

協議のもと、運行を実施する予定であるが、せっかく隣接した地域での実施となるので、それぞれの往来であるとか、小野でドライバーとしてご協力いただいている事業者の方の二俣瀬地区でのご協力であるとか、そのあたりは共通して効率的に運行したいと考えている。

【委員】

厚南地区では年に一回、北部地区とも連携して10地区ほどの連合会長が集まり、意見交換を行っている。そこでも話題になっているので、今後経過報告をじっくり聞いていきたいと考えている。この協議会では出てこない問題等も聞けるのではないかなと思うので、その会議の際注視しておきたいと考えている。

【会長】

先ほどの計画策定の内容でも、ワークショップの実施という内容があったが、この協議会で掘りきれていない内容があるのではと思うので、形式はともかく、いろんな意見収集等行っていただきたい。昨年度、小野のライドシェアについて助力させていただいたため、ある程度ご意見等承知しているが、小野地区についてはまだ少し、一番最初の認知の部分が低いと思われ、せっかく導入しているので、もう少し使ってもらえる形にならないと、永続的なシステムにはなりえないかと思われるので、昨年の考察等踏まえていただけるとよい。また、二俣瀬地区については、地域の特性上東西に広がっているため、地域によって行きたい方向が異なっている傾向がある。多種多様な方向への需要があり、路線バスではなかなか対応が難しい部分があるとアンケートを見ると感じられ、そういった部分についてはライドシェアがうまく機能する可能性があると思われる。またそういった実証の先に、北部の交通体系についてどういった形を考えるのかということも今回の計画に盛り込む必要があると思われるので、ライドシェアと既存のデマンドとの今後の関係性等についても検討しなければならないと思われ、そういったところも見据えた実証を行っていくとよいと考える。ただ、この二俣瀬での実証を行う頃にはある程度計画の内容も出来上がってきているため、スケジュール的に難しい部分もあるが、最終的な形を考えていただければと思う。

この件について、社会福祉協議会さんも色々地域の方と関わっておられると思うが、ご意見をお聞かせいただきたい。

【委員】

地域の方とお困りごとについて話し合ったりしている。紹介となるが、小野地区でデマンドやライドシェアがある中で、デマンドの利用者も少ないということで、地域の方と一緒に、地域の方が支援するデマンドバスの体験会を2月の末に実施した。地域の方でチラシを作られ、交通局や市にもご協力いただき、その日は無料で乗車していただけるという形で実施した。実績としては2名の方にご利用いただき、母数が少ないため、この2名という数でも小野では非常に大きいと考えている。そういった体験会等により実際に利用していただくというのは効果的であると感じた。また、なぜ今まで利用しなかったかを尋ねると、知らなかった方と知ってはいたけど自分で申し込むのはハードルが高いという方がおり、そういったところの支援を地域の方ができる、ライドシェアやデマンドの利用者が増えるのではと感じている。

【会長】

分析したアンケートでも、ライドシェアについて存在は知っているがどうやって利用したらよいかがよくわからないといった回答が割と多かったので、ライドシェアというものをやっているんだということはある程度認知されているが、どうやって予約するとか、どうやって運賃をはらうとか、そういったところがまだ知られていない回答になっていた。そのあたりは今おっしゃっていただいた内容と一致し、事務局も承知していると思うので、今年度色々と工夫していただければと思う。

この件は報告事項としたい。

(4) スマート空港タクシー事業者の変更について [承認]

事務局から概要、(株)おおすみから資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

基本的に宇部市の協議会として何か申すものではないように思うが、1点、運行効率化とはどのような点についてのことかお教えいただきたい。

【(株)おおすみ】

3社でスタートしたが、繁忙期(時間)や閑散期(時間)があり、3社で回す際にシステム上、近い会社から順に山口市から宇部空港に行くというシステムとなっているが、実質今の状態で3社で運行するためのシステムを使用するタブレット等、そこまで必要ではなくなってきた。最終的には、3社で実施するほどではないのではないかとということで、この度、撤退という形にさせていただきたい。今後は2社でも運行効率が図れるという認識である。

【会長】

基本的には山口市の内容であり、宇部市としては承認としてよろしいかと思う。

この件について、承認としてよろしいか。

異議なし。

(5) 山口宇部空港国際線乗合タクシー運行支援事業 [承認]

事務局から概要、山口県交通政策課から資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【委員】

昨年度も実施されているが、ご利用の状況や予約の状況をお教えいただきたい。

【山口県交通政策課】

一昨年度(令和6年度)の実績は、韓国と台湾チャーター便併せて6便運行し、16人の利用。昨年度(令和7年度)の実績は18便運航し、59人の利用となっている。

【会長】

利用者の内訳について韓国や台湾の方が多く利用されているという状況か。

【山口県交通政策課】

人数の内訳まではこの場では把握していないが、基本的には韓国・台湾の方が多く利用され、日本人の方も一定数利用されている。

後日内訳について県交通政策課より、外国人53名、日本人6名の計59名の利用  
とのご報告あり。

【会長】

この件について、承認としてよろしいか。  
異議なし。

その他（報告）

・令和8年度 主な事業について

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

お祭りに合わせた路線バス100円デーの実施は以前より行われているし、小中学生バス無料化の話は昨年色々ご意見をいただき、現状、多数の利用をしていただいている状況と伺っている。運転士確保の取組みについても非常に重要な取組みであると認識している。100円デーについては、宇部市のウォークブルの協議会において、アクセスのための公共交通も非常に重要であるとの話が出ているので、市の中でうまく活用していただきたい。

年度の初めなので、交通事業者からも令和8年度の主な取組みについてご紹介いただきたい。

【宇部市交通局】

令和8年度の主な事業として3つお示ししたい。

1つ目は、路線バスの運賃改定の検討を考えている。ご存じのとおり運行経費が上昇しており、それに見合った運賃の徴収を、経営基盤の強化に向けて検討したい。

2つ目は、宇部新川駅の駅前広場にある新川営業所について、かなり建物が老朽化しているため、その建て替えに今年度着手する予定である。移転場所としては、駅に向かって左側の旧旅館組合の建物を解体して新たに今年度・来年度で新設予定としている。

3つ目は、交通サービスの安定的な供給ということで国から公営企業に求められている経営戦略の改定を予定している。コロナ禍に策定しているものから社会情勢等変わってきているため、地域公共交通計画とも整合を図りながら経営戦略を改定していきたいと考えている。

【船木鉄道】

10月に軽微な時刻の改正と、今年度はノンステップ型の路線バスを2台導入する予定としている。

【宇部山電タクシー】

西宇部、厚南、藤山地区のコミュニティタクシーを運行している。その中で、西宇部地区について、昨年の10月～11月にかけて新しいルートの実証実験を行い、この10月より新たにコースに組み込まれる予定となっている。実証実験の段階で比較的多く利用していただいております、10月から多くの方に利用していただけるものと期待している。

#### 【宇部第一交通】

交通事業者に共通して、交通インフラに対応するための人材、乗務員の確保について強力的に進めている。原、桃山、東岐波地区のコミュニティタクシーを運行しており、ハローワークや人材派遣会社等活用しながら、人材確保について引き続き注力していく。

#### 【西日本旅客鉄道】

今年度10月からJR6社で大型の観光キャンペーン、山口デスティネーションキャンペーンを山口県と各市町の皆様にご協力いただきながら展開させていただき、多くのお客様にお越しいただきたいと考えている。交通に限らず、宇部市にも経済効果が表れるような取り組みにしていくので、ご協力をお願いしたい。

また、山陽小野田市と連携し、昨年10月から小野田線の最終便増便の実証を行っている。来年の3月までは引き続き実施し、利用者ニーズ等を見ていきたいと考えているので、是非ご利用いただきたい。

#### 【山口県交通政策課】

先ほどの宇部市の公共交通計画策定の議論の際にも会長からご紹介があったが、県においても地域公共交通計画を策定予定としている。2か年にわたって策定予定で、令和8、9年度で策定予定としている。

また、交通事業者に向けた新たな補助金を作り、交通DXや職場環境改善（トイレの改修等）の取り組みについて利用できる補助金の創設を予定している。近々公表予定であるのでご確認いただきたい。

#### 【会長】

各事業者や山口県からご紹介いただいた。その他ご紹介やご質問等あればお願いしたい。

#### 【委員】

この4月から自転車の違反等について改正されたと認識している。そのあたり、少しご説明いただけないか。

#### 【宇部警察署】

ご承知のとおり、4月1日より自転車の利用者に対し、反則通告制度、いわゆる青切符というものが導入された。警察庁の方針が示された自転車のガイドブックが公開されており、ホームページを見ていただければと思うが、基本的には警察として例えば、ながらスマホをしているからすぐに切符を切るということではなく、まずは指導・警告をして、それでも交通事故に直結するような悪質で危険な違反であれば青切符の対象になるというもの。横断歩道については、基本的には自転車は押して通ってもらうのが理想ではあるが、歩行者がいない場合は乗ったまま通ってもよいとなっている。仮に歩行者がいる場合は降りて押して通過してもらうというルールになっている。歩行者がいるのに乗ったまま通過すると、指導・警告の対象になる。警察としても各事業所や学校等で講習をしているところであるが、今回青切符制度が導入されたからといって今までの自転車のルールが変わったというものではない。自転車というのは道交法上でいえば軽車両という位置づけであるので、自動車や二輪車同様左側を通行するとか、本来歩道ではなく車道の左側を通行するというのが原則にはなるが、

自転車通行可の標識がある歩道があれば通行してよいし、車道を通行するのが危険な道路では歩道を通行しても構わないので、警察としても広く周知していく必要があると認識している。

【会長】

先程、交通局の紹介の中で運賃改定、経営戦略について紹介があったが、かなり大きな話であると認識しており、この場では運賃の是非のような議論をする場ではない理解だが、一般論でいうと色々な経費が上がってきている状況で、人件費についても待遇は改善していかなければいけない中で、人件費が減る要素はほぼないと思われ、運賃改定は必要と思われる。宇部の場合、公営のバス事業者であるので、宇部市の政策とバス事業者の施策を一緒に議論されやすいが、バス事業者としての判断と、それに対する市として福祉施策を実施するのは本来別の話であるので、そこは全体的な負担と受益のバランスに関する議論は大事と考える。

今年度宇部市で計画を改定して様々な施策につながることとなり、何らかの形で各事業者のご協力をいただくこととなると思うので、よろしくお願いします。

3 その他

事務局から、次回協議会（6月開催予定）について案内した。意見等特になし。

以上